

中1数学

伊藤 修

◆今月は、「平面図形②(おうぎ形)」を学習します。おうぎ形は円を2本の半径で切った形、つまり「円の一部分」です。したがって、おうぎ形の「弧と面積」の公式は、小学校で習った円の「円周と面積」の公式がもとになっています。しっかりと思い出しておきましょう。

◆また、中学数学では円周率を14ではなく、π(パイ)で表すので、計算はかなり楽になります。今後も、文字を使って表すことが多くなってくるので、早めに慣れましょう。公式を覚えたなら、問題演習を数多くこなし、解き方を「定着」させましょう。そして、いろいろな形へと「応用」できるようにしましょう。

中1国語

五味 久夫

◆今月は、「古文の単語」についてお話しします。古文の単語には、現代文では使われなくなった語や現代とは意味が異なる語があります。例えば、使われなくなった語は、「いと(たいへん)や、よろず(いろいろ)などです。また、現代とは意味が異なっている語には、「うつくし(かわいらしい)、あやし(不思議だ・身分が低い)、ありがたし(めったにない)」などがあります。これらのことを「理解」し、文章を読み進めましょう。

◆古文を読むときは、一度ではなく、二度三度と繰り返すと、すらすら読めるようになります。また、そのときに出てくる重要古語を覚えると、意味が読み取れます。古文を音読して、少しずつ古語の意味を覚えていきましょ。

中1理科

中 荃 賢 蔵

◆今月は、「力による現象」を学習します。私たちの周りには、色々な力があります。例えば、ねんどをこねると、ねんどは形を変えます。リュックを背負うと、リュックは背中から落ちません。野球のように、飛んできたボールをバットで打つと、ボールの動きが変わります。このように、力のはたらきには、物を変形させるはた

らき、物を支えるはたらき、物の動きを変えるはたらきの三つに分類することができるのです。

◆この内容は、様々な力の種類や力のつり合いのしくみを「理解」することが重要です。中2生や中3生の理科でも、力に関する内容は出てきます。中1生で学習した力の内容は、きちんとノートにまとめておきましょう。

中1社会

小林 祐介

◆今月の地理分野は、「南アメリカ州」を学習します。まずは気候・地形・産業・文化に分けて整理しましょう。南アメリカは、大航海時代に移り住んだヨーロッパ人や奴隷として連れてこられたアフロリカ人、そして日本人との融合で生まれた「混血」の地域です。歴史的背景を知って、より「理解」を深めましょう。

◆歴史分野は、「東アジア世界とのかかわりと社会の変動(1)」を学習します。元からの襲撃(元寇)が鎌倉幕府の滅亡につながり、明との勘合貿易は室町幕府の発展に貢献します。外国とのつながりが重要になってきます。また、琉球王国やアイヌ民族との関わりも盛んになるので、日本以外にも目を向けて覚えてください。まずは授業を熱心に聴き、教科書を熟読して「理解」し、多くの問題を解いて「定着」を図りましょう。

中2英語

高橋 則文

◆今月は、「比較①」を学習します。形容詞や副詞は、比較の文中で、tall(原級) taller(比較級) tallest(最上級)のように形を変化させます。例文を使って確認してみましょう。①2人を比べて「〜と同じくらい」と表すときは「as...as」を使います。「私はあなたと同じくらい背が高いです。」を英文にすると、「I am as tall as you」となります。②2人を比べて「より〜か」「より...だ」と表すときは「than」を使います。「私はあなたより背が高いです。」を英文にすると、「I am taller than you」となります。③3人以上の中で「〜が一番...だ」と表すときには

「the +...est」を使います。「私は3人の中で一番背が高いです。」を英文にすると、「I am the tallest of the three」となります。基本となる三つの形をしっかりと覚えましょう。

中2数学

古橋 慎

◆樹形図という言葉は覚えていませんか。考えられるすべての場合を順序よく整理して数えるのによく用いられる図のことです。この図を利用して、例えば3人が一列に並ぶ順番は何通りあるか、4枚のカードのうち2枚を並べて2けたの整数をつくるのとき何通りできるかなどが調べられます。

◆今回は、これまで学習してきた場合の数の中から、あることが起こると期待される程度を数で表したものの、つまり全部で何通りあり、その中から条件を満たすものが何通りあるかを分数で表記する、「確率」を学習します。さいころに関する問題やカードに関する問題などがよく出題されます。授業を通して樹形図をかく場合の考え方を「理解」し、練習を通して「定着」させてください。

中2国語

内藤 紀和

◆今月は、「付属語(助詞・助動詞)」の種類と働きについて学びます。付属語は単独で文節を作ることができません。それ単体では意味を完結できない単語ですが、前後の単語の意味を補足するという重要な役割を持っていきます。関係を表したり、意味を添えたり、話し手・書き手の気持ちや判断を表したりします。「受け身・可能・尊敬・自発...」と、文法用語も出てきます。区別して覚えてください。

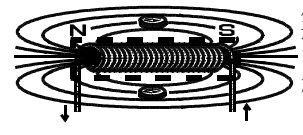
◆付属語は非常に重要な単語です。例として次のような文を考えてみましょう。「私は車で行きたい。」という文の「付属語を抜くと、「私車東京行く。」となり、付属語が無いと意味を正確に伝えることは困難です。これは一例ですが、付属語を「理解」することで、話し手や書き手の意図を「理解」することができるようになります。普段から意識して読んで

書いたりするとよい練習になります。

中2理科

川端 康祐

◆今月は、「磁界」を学習します。磁界とは磁力のはたらく範囲のことです。目には見えませんが確かに存在しているこの不思議な力は、今日、リニアモーターカーやテレビジョンカソード、スマホ、コピー機、発電機、衛星、医療機器など様々な分野で利用されています。地球自体もこの磁界で守られています。そのような磁界がどのようにはたらき、また、それをどのように利用しているのかについて興味は尽きないと思います。磁界は電流と密接に関連し極性や向きがあるため、まずはそれらについての法則を学びましょう。その上で、磁界周辺で起こる現象を「理解」していきましょう。



◆最初はわかりにくいかもしれませんが、わかるまで何度でも質問しましょう。「一度「理解」すると、単なる向き合わせということに気がつくでしょう。頑張ってください。

中2社会

仁木 睦枝

◆今月の地理は、「関東地方」を学習します。まず、白地図を使って、都や県の名前と位置を確認しましょう。また、東京大都市圏を中心に自分の住む地域との産業の関わりを考えてみましょう。

◆歴史は、「日清・日露戦争と近代産業」を学習します。まず、日清戦争での勝利が日本の産業革命につながった流れをつかみましょう。そうして発展した近代産業のおかげで過酷な労働条件に耐えてきた人々が、労働争議を起こすようになり、政府はこれを弾圧します。そのことで社会運動が高まり、最終的には大正デモクラシーへとつながっていきます。ここを「理解」すると歴史への興味がわいてきます。興味をもって学習すると、社会の学習が楽しくなり、得意科目の一つになります。